

# 日野市史

通史編三 近代(一)



# 日野市史

## 通史編三 近代(一)

題字 丸山 巒 溪

### 目次

口 序 凡 例  
 序 例

### 明治編

#### 第一章 明治前期の政治と社会

##### 第一節 明治初期の地方行政

- 一 廃藩置県と多摩地方……………三
- 改置府県と多摩郡(三) 多摩郡移管の経緯(六) 日野市域管轄の変遷(九)

##### 二 戸籍区・区番組制・大区小区制……………三

- 戸籍区(三) 区番組制(五) 大区小区制(六) 代議人制度(三) 総代人制(三)

#### 第二節 地方三新法と日野

- 一 郡区町村編制法と連合村……………七
- 地方三新法の制定(七) 郡区町村編制法(六) 連合村の編成(三)
- 日野宿と上田村の連合(三)

##### 二 宿村会の発足……………三

- 町村会規則(三) 日野宿宿会の成立(五) 区町村会法の施行(五)

##### 三 神奈川県会の成立……………三

- 県会の開設(四) 県会で活躍した人たち(四)

##### 四 区町村会法の改正……………四

- 改正区町村会法(四) 南平村外七か村連合村会(五)

#### 第三節 自由民権運動のおこり

- 一 殉節両雄之碑……………四
- 精神的風土(四) 大槻磐溪と子弟(六) 六人の発起人(六)
- 二 自由民権運動への参加……………六
- 第十五囀鳴社の設立(六) 府県会議員親睦会(六) 沼間守一の演説(四)
- 集会条例の束縛(六) 自由党入党(六)

三	日野市域の自由党员	六九
	社会的経済的地位(六九)	
四	明治天皇の中央道巡幸	七〇
	巡幸出発(七〇) 巡幸と日野宿(七〇) 明治天皇と日野宿(七〇)	

#### 第四節 民権運動と激化する事件

一	日野自由党の活動	七〇
	政談演説会(七〇) 懇親会(七〇) 多摩講学会と神田静修館(七〇) 共融会社と自由党(七〇)	
	日野銀行と自由党(七〇)	
二	困民党事件	七一
	未曾有の不景気(七一) 困民党蜂起(七一) 金融機関と困民党(七一) 日野市域の困民党(七一)	
	地租軽減請願(七一)	
三	勅命丸事件	七二
	武蔵野叢誌の戯稿(七二) 重禁錮三年罰金五十円(七二)	

#### 第五節 自由民権運動の終息

一	大阪事件と日野市域の民権家	七二
	国会開設期限短縮建白(七二) 大阪事件と神奈川旧自由党(七二) 南多摩グループの役割(七二)	
	森久保と土方の逮捕・拘留(七二) 森久保・土方の無罪釈放(七二)	

二	渡米した青年たち	七三
	新天地を目指して(七三) 渡米した三青年(七三)	
三	三大事件建白と条約改正反対運動	七三
	三大事件建白運動(七三) 県会騒動と高木吉造(七三) 神奈川通信所と森久保作蔵(七三)	
	条約改正反対運動(七三) 条約改正反対演説会(七三)	

#### 第六節 明治前期の経済

一	道路交通の変化	七三
	幕末・維新期の宿駅(七三) 宿駅制度の廃止(七三) 各駅陸運会社の解散(七三) 車輛交通の増加(七三)	
	日野郵便局と郵便路線(七三) 多摩川の渡船と渡橋(七三) 日計簿と就業日誌(七三)	
二	農業と農産物	七五
	明治前期の戸数と職業(七五) 農産物と農産額(七五) 年間農作業の概要(七五)	
三	地租改正	七五
	地租改正法の公布(七五) 地租改正の実施(七五) 神奈川県下の地租改正(七五)	
	日野宿の地租改正(七五)	
四	租税・公課と宿村の財政	七八
	国税と地方税(七八) 連合協議費(七八) 村費と教育費(七八)	
五	甲武鉄道の開通	七八
	馬車鉄道の敷設計画(七八) 蒸気鉄道へ計画を変更(七八) 免許状下付と鉄道建設(七八)	
	日野停車場の開業(七八) 街道と渡船渡橋の衰微(七八)	

第七節 明治前半期 災害異変……………101

明治前半期の特色(101) 河野清助の記録(104)

第二章 明治後期の政治と社会……………113

第一節 市制・町村制と日野……………113

一 日野宿・桑田村・七生村の成立……………113

市制・町村制(113) 日野宿・桑田村・七生村(115) 議員選挙と町村会(116)  
村長・助役・収入役(116) 村役場の設置(117)

二 日野町と桑田村の合併……………113  
合併上申(113) 合併許可(116)

第二節 東京府編入とその後の政治展開……………116

一 東京府編入……………116

第一回衆議院議員選挙(116) 多摩郡移管問題(117) 大井派から星派へ(118)  
三多摩移管の目的(118) 反対運動熾烈(119)

二 政治家志向と篤農家……………117

中央志向と在地指導(117) 森久保作蔵衆議院進出(118) 扶桑社発起人(118)

篤農家と元民権家(118)

三 新自由党の結成……………119

新党結成に向けて(119) 新自由党結党式(120)

四 星亨と三多摩壮士……………121

東京市会占領計画(121) 改正府県制郡制と日野市域(122) 郡市懇和会(122)  
星から森久保へ(122) 三多摩壮士の指導者(124)

第三節 日清戦争……………126

一 日清戦争と日野の人びと……………126

兵士出征(126) お百度詣りと献金(127) 戦勝祝賀会(127) 下関条約と三国干渉(127)

二 軍天玉組の悲劇……………127

玉組の結成(127) 病魔との闘い(128) 民権から国権へ(128)

三 凱旋兵士・戦病死者・招魂碑……………128

凱旋兵士と戦病死者(128) 招魂碑建立(128)

第四節 日露戦争……………129

一 日露戦争の勝利……………129

動員令発布(129) 出征兵士の見送り(129) 露将マカロフの死(130) 遼陽の戦(131)  
旅順攻略(131) 陸海軍の大勝と講和条約(131)

二 戦時下の生活……………131

戦時体制(三三)	農民の批判(三三)	農事改良の推進(三七)	軍人・遺家族の援護(三六)
戦死者の葬儀(三一)			
三 戦後の諸相			三五
日比谷焼き打ち事件(三三)	兵士の凱旋(三六)	忠靈碑建立(三三)	地主と小作の対立(三三)
義兵討伐隊警部の戦死(三四)			

## 第五節 地方改良運動の諸相

一 地方改良運動の展開	三五
戊申詔書(三六)	
二 青年会と在郷軍人会	三六
三多摩郡青年会(三六)	
日野市域の青年会(三六)	
在郷軍人会(三七)	
三 報徳会の活動	三三
平山報徳会の設立(三四)	
秋間為子と報徳会(三五)	
報徳運動の展開(三七)	
四 東京府農事試験場第一分場	三六
農事試験場の設立(三九)	
豊田の農事試験場(四〇)	
平山陸稲(四〇)	
五 豊田の耕地整理事業	三四
豊田耕地整理組合の発足(四三)	
耕地整理事業着手の背景(四七)	
工事中の苦難(四九)	
不朽の盛挙(五一)	

## 第六節 明治後期の経済

一 日野の養蚕業と蚕業伝習所	三五
養蚕業の発達と指導者の活躍(三四)	
扶桑社誕生の背景(三五)	
盛進社とその社員(三六)	
扶桑社発足(三六)	
二 南多摩郡農会の成立	三五
南多摩郡農工会(三六)	
大日本農会八王子支会(三七)	
南多摩郡農会(三九)	
三 日野町農会と七生村農会の活動	三七
桑田・日野・七生の三農会の成立(三七)	
日野町農会の規則(三七)	
日野町農会と七生村農会の活動(三七)	
日野町農事調査(三七)	
農事改良の実施(三七)	
日野町農事研究会(三八)	
四 鉄道の発達	三六
鉄道時代の開幕(三五)	
青梅鉄道の開業(三五)	
川越鉄道の開業(三六)	
甲武鉄道の国有化(三六)	
横浜鉄道の開業(三九)	
建設(三九)	
豊田停車場の開業(三九)	
八王子・上野原間開通(三九)	
甲武鉄道の国有化(三六)	
横浜鉄道の開業(三九)	
五 渡船・渡橋業務の推移	三六
渡船・渡橋経営の困窮(三六)	
渡船・渡橋業務の委託(三六)	
明治末期の渡船と渡橋(三六)	
六 地方道の整備	四〇
板橋の架換(四〇)	
地方道の改修(四〇)	
七 町村の財政	四一
町村制の施行と宿村の財政(四一)	
郡内各町村との比較(四二)	
合併時の日野町と桑田村の財政(四二)	
日露戦後の町村財政(四二)	

第七節 明治後半期 災害異変…………… 四六

明治後半期の特色(四六) 河野清助の記録(四六)

第三章 明治時代の教育と文化…………… 四四

第一節 近代学校の成立と管理財政…………… 四四

一 日野郷学校の成立…………… 四四

郷学校の設立(四四) 郷学校の整備(四六) 県下の郷学校の形態(四六) 日野宿組合の

郷学校(四六) 教師村岡笠城(四七) 郷学日野学校と高橋学校(四七)

二 近代学校の成立…………… 四五

学制頒布と神奈川県(四七) 小学校の誕生(四七)

三 学校の管理と維持…………… 四三

学区取締と学務委員(四三) 学校世話役(四三) 学区内聯合会(四六)

四 学校資本金と寄付金…………… 四六

学校資本金(四六) 日野学校の資本金醸出者(四六) 寄付金(四六)

五 校舎の新築…………… 四三

多摩の校舎新築状況(四三) 日野市域の新築状況(四四)

第二節 教師と生徒と学習内容…………… 五一

一 学校設立期の教師…………… 五一

明治初年の教師群像(五一) 日野市域の教師たち(五一) 日野宿教員養成所の設置(五七)

師範学校教師(五九)

二 学校体系と就学状況…………… 五〇

小学校の編成(五〇) 不就学児童の理由(五三) 明治十四年の学校体系(五七)

三 教科書…………… 五七

教科書登場(五七) 教科書の内容(五〇)

四 試験…………… 五四

大試験と春・秋試験(五四) 試験制度の変遷(五五)

第三節 明治後期の教育…………… 五七

一 明治後期多摩の教育…………… 五七

明治後期の教育展望(五七) 多摩の教育(五九)

二 明治後期日野の教育…………… 五〇

明治後期の日野小学校(五〇) 下田・豊田両小学校(五三) 授業料全廃(五三)

潤徳・平山両尋常高等小学校(五四) 学校合併問題(五七) 日野市域の学校統合(五六)

三 実業補習学校の発足…………… 五四

日野補習夜学会(五四) 日野農業補習学校(五四)

四 府立第二中学校の誕生…………… 四〇

第四節 村の文明開化と文芸…………… 四六

一 日野の文明開化…………… 四六

神仏分離令と八坂神社(四六) さんぎり頭と文明開化(四六) 太陽曆の採用(四七)

祝日と休日(四七) キリスト教伝道(四八)

二 日野の文人と文芸…………… 五五

春日庵盛車の活躍(五五) 狂歌師玉川居祐翁(五七) 呉龍軒那歳 玉陵その他(五七)

鶴飛と甲武鉄道唱歌(五七) 金剛寺の算額(五七) 百草園と文学者(五七)

三 仏教運動と五十子敬斎…………… 五九

十善会支部の設立(五九) 敬斎の奉仕活動(五六)

コ ラ ム

アーネスト・サトウと日野の町…………… 二

大区小区制下の村の公用文書…………… 二六

徳川慶喜の涙…………… 五九

流行病と衛生設備…………… 三三

七生村への合併希望…………… 二九

菊づくり…………… 三五

扶桑社卒業生…………… 三六五

八王子商店万代鑑…………… 三六四

内国勲業博覧会と東京見物…………… 四一六

幻燈会…………… 四二二

書籍出版…………… 五三三

私立学校…………… 四〇六

江戸人形遣いの公演…………… 五八六

執筆分担…………… 五七〇

掲載資料提供者ならびに協力者一覧…………… 五七〇

あとがき…………… 五七一

日野市史編さん関係者名簿…………… 五七二